

# 松陵

秋田県立能代高等学校  
同窓会事務局  
〒016-0184 能代市高埜2-1  
能代高等学校内  
TEL 0185-54-2230  
FAX 0185-54-2231  
題字は前会長神馬恒成氏  
印刷所 榎大湯印刷



同窓会長 田中仁純

(二十五期)

## 同窓会員の皆様へ

能代高等学校同窓会員の皆様にはご健勝にお越しのこととお慶び申し上げます。今年度も二万名を越す会員の皆様は各界各方面にて活躍されていることと思います。ここでは三名の会員について述べてみます。まず日本中を熱中の渦にまきこんだWBCでのピッチングスタップとして金メダルを手にした山田久志氏(37期)、サムライジャパンの投手力の束ね役としての実力を高く評価されました。最近『世界一の方程式』を上梓されました。総会に出席した数学の恩師が「山田は俺の授業時間に目を開けたまま寝ていたか?」とジョークをとばす一幕もありました。

次に31期の高松和夫氏です。先の衆議院選で東北ブロックの比例区で見事当選を果たされました。総会に十数名の同期生が出席し激励していただきました。15期の佐々木満氏が退任されて以来の国会議員の空席をうめてくれました。おめでとうございます。

74期の高田玲奈さん、10月12日故郷に錦を飾ったのピアニストです。同窓会でもプログラム等に後援の名を添えて応援を送ることにしました。同期の方々も多方面にわたって応援しております。この三名の方々の方々の活動の基には同窓生の強い絆が感じられます。能代球場が「山田久志サブマリンスタジアム」という名称がつき、県大会の開催には山田久志氏の功績が必ず報道されます。これも同窓生の働きかけによって実現できたことでもあります。



校長 山本達行 (39期)

## 新たな挑戦に向けて

朝夕の空気の冷たさ、秋の深まりを感じる季節となりました。同窓会の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。先般の本校職員の不祥事につきまして、同窓生の皆様には大変不愉快な思いをさせてしまいました。また、八十有年にわたる本校の歴史に大きな汚点を残してしまいましたことは、私の不徳の致すところであり、まこと慚愧に堪えません。発覚から三ヶ月、関係各位の協力をいただきながら、職員一丸となって信頼回復に努めてまいりました。生徒もそれに応え、実に見事

さん元気で頑張りましょう。

な対応をしてくれました。現在は事件の後遺症もみられず、生徒への影響は最小限に抑えられたと思っております。しかしながら対外的なイメージダウンは免れず、学校としての勢いにもブレーキがかかったことは確かです。職員一同、さらなる信頼回復の努力と実績を積み重ねながら、学校としての活力を取り戻し、地域の誇りとなる学校を目指して行きたいと思っております。

平成十九年度から取り組んできたウイイルプロジェクトも、節目の三年目を迎え、成果と課題を明確にすべき時期となりました。「志を高く掲げ、可能性に挑戦し、主体的に学び活動する生徒」の育成に、ただ成功したのかは、最終的なアンケート結果が出るまでわかりませんが、生徒の行動や発言に確実な成長を感じています。最後に残された課題は、こうした人間的な成長と学力の向上をいかに融合させるかということだと思います。主体的な学びを促す学習指導の改善が、プロジェクトの成否を決めると考えています。この古くからある難問に、新たな発想で挑戦していくことになりました。今後とも、変わらぬご支援をお願いいたします。

### 平成22年 能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

- ◎日時 平成二十二年一月二十二日金 講演会 午後五時三十分
- 講師 北条 敬氏(39期 八戸松平病院副院長)
- 演題 (未定)
- ◎会場 能代キャッスルホテル平安閣(能代市元町)
- 電話 (〇一八五) 五五一一一一
- ◎会費 四、〇〇〇円(当日持参)
- ※当番幹事は三十九期・四十九期です。参加申し込みは各期幹事または同窓会事務局へ連絡してください。
- 同窓会事務局 電話 (〇一八五) 五四一三三〇
- (能代高校内) FAX (〇一八五) 五四一三三二

# 恩師探訪

能代高校で教鞭をとられた先生方に当時の思い出を綴っていただく「恩師探訪」のコーナー。今回は、昭和27年度から35年度まで定時制二ツ井分校と全日制に勤務した安嶋彬先生に筆を振るっていただきました。（事務局 広報担当 小林33期）

## 能高在任中の思い出

安嶋 彬 先生



安嶋彬先生の近影

私が定時制二ツ井分校へ赴任したのは自分の希望からでした。無着成恭さんの「山びこ学校」に感動して僻地教育に理想を抱いたのです。でも、実際は大変でした。四学級で教師は四人。一学級三〇人のはずが出席はわずか七、八人。みな昼の労働で疲れきっていて意欲は低く、居眠りが多く、宿題など出せる空気ではありません。私は彼らにまず学ぶ面白さを知らせよう、学校へ通う楽しみを持たせようと考へ、授業を工夫し、学習の合間には世の中の動きや人間の様々な偉業の話をし、休み時間のコーラス、放課後の演劇

練習と、それを携えて年に一回の周辺部落への巡回演劇。生活作文の指導と年四回の文集発行など、さまざまな方法で彼らを誘い、引つ張りました。休日のハイキングもよくやりました。まだテレビがない時代です。演劇は各部落で人気を集め、文集は方々からほしいと言ってくる人が現れました。その結果、分校の空気がだいぶ変わり、多くの生徒が進んで活動に参加し、自分たちの分校を誇りにするようになりました。

だが五年後、突然本校への転勤命令です。県教委が私を欲しいと言ってきたので、校長は急に私を本校にとりたくなつたのです。突然昼の高校生の前に立って、面喰らいました。私が有名大学出だからというので、三年の進学クラスの国語を持たせられたので

す。よく勉強する生徒達がいる。彼らがぶつける古典文法の質問には立ち往生して、次回までに調べてくるからと逃げる場面がしばしばでした。家へ帰ると昔の大学受験で使った参考書相手の猛勉強です。おかげで一学期が終わるころにはまあまあ普通の教師になりました。クラブ活動は図書部の顧問です。この時も常に生徒との対話を心がけ、よくハイキングをしました。

ところが四年後、まだ二歳の下の娘が近所の水路で溺死するという事故が起きました。家内は半狂乱でここにはもういたくないと泣きます。意を決して教員採用試験を受け直し、栃木県の宇都宮高校へ転職しました。

能高の記憶は、今も私たちの宝です。



2004年5月 二ツ井町で行われた「秋田のこだま」きみまち版集会に参加した安嶋先生ご夫妻（奥様は図書室に勤務）

## 同窓生から

今回は、昇降口に小野喬選手達が練習に使用したという木製あん馬を展示したのを機会に体操部出身の方から寄稿していただきました。

### 「木製鞍馬」の由来

展示されたあん馬の説明プレートによると、このあん馬は、本校体操部の大先輩たちが、昭和24年に手作りした歴史と伝統のある「木製鞍馬」である。

「昭和26年から高校の体操競技に正式種目として採用される」との情報をいち早く手に入れ、先手必勝その対策が急がれたが、当時の社会情勢では「鞍馬」を購入するため

の資金調達は許されるものではなかった。やむなく「模造品でも作ってみよう」ということになり、当時市内で銘木業を営んでいた先輩から杉丸太を譲り受け、先輩大学生や部員たちの手で作られたものである。丸太を裁断し鉋を掛け、ボディには能中時代からあった軍事教練用の「馬」か

ら剥ぎ取った表皮を張り付け、「教練馬」の足で脚とし、把手だけは鍛冶屋から作ってもらったものだそうである。

練習には、ズボンの上にゲートル(巻脚絆)を巻き付け、完全防備の上で行ったものの、丸太に膝を打ち付けたり、ささくれに血を流したりと大変なものであったようだ。この甲斐があつてか、昭和26年度のインターハイでは団体優勝を飾っている。

このような先輩たちの苦勞が、後輩たちにも受け継がれ、昭和24年から38年までの間に12回のインターハイ団体優勝を成し遂げる原動力となつたものと言つて過言ではなからう。



### 同窓会会計報告

平成20年度（平成20年9月18日より平成21年8月31日まで）  
※21年度以降は9月1日から8月31日までが会計年度になります。

#### 1. 経常費

##### 収入の部

項目	20年度予算額	20年度決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	469,143	469,143	0	前年度より繰り越し
2 入会金	1,634,400	1,627,200	△ 7,200	7,200円×226名
3 会費	2,000,000	1,928,000	△ 72,000	
4 寄付金	0	0	0	
5 その他	457	23,851	23,394	雑収入・利息等
合計	4,104,000	4,048,194	△ 55,806	

##### 支出の部

項目	20年度予算額	20年度決算額	比較増減	摘要
1 会議費	280,000	220,775	△ 59,225	総会、新年会補助、各支部会出費
2 慶弔費	20,000	1,501	△ 18,499	弔電代
3 卒業関係費	380,000	364,860	△ 15,140	入会記念品（入会金を基金へ1,200円×226名）
4 通信印刷費	2,200,000	1,878,018	△ 321,982	松陵発送、案内はがき、新聞広告
5 事務費	40,000	30,760	△ 9,240	ファイル代、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	160,000	84,420	△ 75,580	HP利用料等
8 予備費	24,000	0	△ 24,000	
合計	4,104,000	3,580,334	△ 523,666	

《差引残高》 収入 支出 差引残高  
4,048,194 - 3,580,334 = 467,860

#### II. 基金

種類	平成21年度分	平成20年度分	摘要
1 秋田銀行積立	30,477,282	30,133,958	入会金271,200円（1,200円×226名）を含む
2 秋田銀行定期	889,784	887,299	
3 秋田銀行定期	1,004,225	1,002,065	
4 秋田銀行普通	1,000,313		
合計	33,371,604	32,023,322	

### 同窓会経常費予算

平成21年度

#### (1) 収入

項目	21年度予算額	20年度予算額	比較増減	摘要
1 繰越金	467,860	469,143	△ 1,283	
2 入会金	1,648,800	1,634,400	14,400	7,200円×229名
3 会費	2,000,000	2,000,000	0	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	0	1,000,000	基金4（秋田銀行普通）から繰り入れ
6 その他	340	457	△ 117	預金利息など
合計	5,117,000	4,104,000	1,013,000	

#### (2) 支出

項目	21年度予算額	20年度予算額	比較増減	摘要
1 会議費	280,000	280,000	0	総会等補助、各支部会出費
2 慶弔費	20,000	20,000	0	電報
3 卒業関係費	380,000	380,000	0	入会記念品、入会金の一部を基金へ
4 通信印刷費	2,200,000	2,200,000	0	会報印刷・発送費、はがき、新聞広告
5 事務費	40,000	40,000	0	事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	100,000	160,000	△ 60,000	インターネット利用料、HP利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	0	1,000,000	基金4（秋田銀行普通）への繰り戻し
9 予備費	97,000	24,000	73,000	
合計	5,117,000	4,104,000	1,013,000	



中村 栄喜  
(三十八期)  
秋田県スポーツ科学センター

### 体操部の思い出

昭和四十年入学、全国に能代高校体操部の名をはせていた時代、レギュラーになれればそれは全国で一番という、約束手形をもらったも同然の時代。練習は厳しかった。その厳しさを語るにしても、大げさだと思われたくないのを書くことは止める事にする。「よく、耐えた」。しかし、一生

の大切な誇れる思い出である。全国で優勝していなければ肩身の狭い思いをし、そんな思いはさせたくないと叱咤激励をして、くださった大先輩の顔は真剣そのものであった。一年の時は全国三位、選手として出場した二年は二位、三年は優勝を目指したが、結局二位。私も全国優勝できなかった肩身の狭い部員のひとりである。先輩、そして同期、後輩と名前を上げ、エピソードでも書きたいのだが、これもあまり有り過ぎ、語ることはせず、

大切な宝物として私の心にとどめておきたい。しかし、ただひとつ、三年の新潟インターハイの時、規定で二位、自由演技で総合優勝を目指した前日、淡路院長先生他数名の大先輩が宿舎に来られ、「俺たちは優勝できなかった。こんな思いはさせたくないと思いい、規定で負けている時は応援に駆けつけ、全部逆転優勝してきた。おまえ達も大丈夫だ。頑張れ。」と応援に駆けつけてくれた思い出に、今、原稿を書いている目が潤み、手が震えている。そして、そ

れに伝えられなかった自分が悔しく、申し訳ない気持ちでいっぱいである。最後になりましたが、能代高校体操部のOB全ての方々に「ご苦勞様でした」「ありがとうございました」。そして、諸先輩、同期、後輩諸氏「お元気ですか」。能代高校体操部頑張っています。機会があればお顔をお見せください。全国優勝は遠くなりましたが、能代高校体操部の「魂」は健在です。「至誠力行」、「文武両道」、為せば成る。

### 平成21年3月卒業生 進路状況一覧

生徒数	男	女	計
	128	98	226
大学	国公立	37	97
	私立	36	79
短大	国公立	3	3
	私立	6	6
専修・各種学校	2	14	16
就職	11	1	12
その他	12	1	13

# 平成21年度 同窓会総会 平成21年新年祝賀会 報告 総会はプラザ都で、 新年祝賀会は平安閣で



総会であいさつする田中会長 (21年9月18日)

平成20年8月の金勇閉業に伴う総会と新年祝賀会の会場は、今年も総会はプラザ都で、新年祝賀会は平安閣で開かれました。本紙1ページ下段のお知らせにあるように、22年の新年祝賀会も同様に平安閣で行われます。

1月の新年祝賀会では袴田忠夫氏(38期)が「日本人としての誇り」と題した講演を行

## 同窓会図書コーナーの設置について(御寄贈の依頼)

(事務局 松谷 健 [35期])

今年の新年祝賀会が1月23日(金)に開催されました。講演会のあと26期の佐藤満氏から「同窓生の著書を母校図書館に集めたコーナーを作れば、在校生の励ましになると思う」という発言がありました。そこで、母校の図書館関係者に相談し、同窓生出版物のコーナーを設けてもらうことになりました。

7月30日ベースボール・マガジン社から出版の『世

界一の方程式』(山田久志著)を「侍ジャパン投手コイチ山田久志」というサイン入りで寄贈していただきました。同様にこの趣旨に賛同し、ご自分の著書または同窓生の著書を御寄贈いただける方は能代高校図書館宛送付していただければ幸いです。御寄贈図書には自費出版物を含みます。同コーナーの管理・運営は、同窓会事務局と図書館に一人任せさせていただきます。

いました。

9月の総会では予算決算が原案通り承認されました。恒例となった山田久志氏のサインボール抽選では、前回までに当選したのに今回また当選するという運の良い人が複数おり、辞退した人が3人も出ました。



総会で東雲羊羹を持つ板倉氏

今回は31期生が15名参加、記念の東雲羊羹を受け取った常任幹事の板倉紘一郎氏はご満悦の様子でした。

## 各支部で総会等を実施

各支部の所在地を6ページに掲載しましたが、「支部一覧」回答はがきによると、各支部で総会等が行われております。

近畿支部では会場に秋田の酒「能代」やハタハタ寿司などを「サットコだから」と店の了解を得て持ち込み、故郷を懐かしんだとのこと。

藤里町松陵会では「松陵会旗」の魂入れ会を開催したとお便りがありました。

## 能代高校旧職員会の会

かつて能代高校に勤務し退職した職員の会「巨濤会」が6月25日(木)、数年振りに料亭魚松で開催された。

出席者は秋元正英、井上忠純、梅田幸孝、越後美緒子、大山行夫、岡卓夫、小熊昇一、加賀谷恭一、金谷晴隆、川口淳、小玉孝一、小林勝平、高橋敏章、谷内成治、田村正男、

中田正則、納谷喜代松、半田俊毅、平川金之助、藤本真子、山崎正規、渡部耕四郎、渡部嵩の諸氏。  
勤務した校舎、時期、年代、教科はそれぞれ異なっているが、部活動や学年部、行事など重なり合う点も多く、欠席者の近況報告資料に目を通したりしながら能代高校での思い出話に花を咲かせていた。

## 会費納入に御協力を！(事務局 財務担当 高橋 [32期])

毎年、会費納入に御協力いただきありがとうございます。おかげで同窓会会計収支は帳簿上健全な状況にあります。ところが実際は、皆様から納めていただいている会費総額が、『松陵』などの印刷・発送費とほぼ同額です。同窓会活動を進める上で、薄氷を踏むような運営状況というのが実態です。

同窓会活動の今後一層の発展と将来の会計を展望するとき、このままで推移することに不安を感じております。会費の納入者数を増やすことが課題と考えています。よろしく願いいたします。

顧問	佐々木 満(15期)
会長	田中 仁 純(25期)
副会長	浅田 嘉 美(17期)
	続 田 隆(21期)
	柴 田 郁(24期)
	工 藤 宣(30期)
	島 山 子(30期)
	佐 藤 嗣(30期)
	山 藤 行(32期)
	飯 坂 悦彦(35期)
	柴 田 彦(37期)
	塚 本 恵 彦(42期)
	大 坂 昇 一(23期)
	梶 田 俊 英(47期)
	泉 牧 子(48期)
監査	松谷 健(35期)
	小 林 勝 平(33期)
	高 橋 宏(32期)
総務部	(校内幹事)
広報部	清水 敏(49期)
財務部	佐々木 寛(53期)
総務部	山信田 理帆子
会計	

同窓会役員(20~21年度)

# 平成二十一年度 部活動大会結果

今年度も能代高校では文武両道の達成を目指して各分野で活躍しました。運動部・文化部の活動状況の概略をご報告します。

## インターハイ

〔体操部〕  
男子個人総合  
70位 山田貴大(3年)  
出場 平塚喜航(1年)  
〔空手道部〕  
男子個人形  
2回戦 福岡諒太(3年)

## 国民体育大会

〔体操部〕  
少年男子  
団体総合 40位  
山田貴大(3年) 平塚喜航(1年)  
〔放送部〕  
山田貴大(3年)

## 全国大会

〔体操部〕  
全日本ジュニア体操競技選手権大会  
出場 山田貴大(3年)  
〔放送部〕  
第56回NHK杯全国高校放送コンテ  
スト出場  
アナウンス部門  
福司千晴・平塚華奈子(3年)  
テレビドキュメント部門  
伊藤ななせ・島山涼美・高橋香  
純・小林瑛美(3年)  
ラジオドラマ部門  
金平理恵子・笠原悠衣・小西  
愛・伊藤舞(3年)  
第33回全国高等学校総合文化祭三重  
大会出場  
オーディオ・ビクター部門  
金平理恵子・笠原悠衣(3年)  
〔弁論部〕  
デイベート甲子園全国大会

ベスト8 熊谷莉奈・斎藤恵未  
(3年)、秋林真生子・大塚充  
智・島田真衣・袴田美咲(2年)  
〔文化部〕  
全国高校生短歌大会  
団体戦出場  
館岡 恵(3年)、野呂充志(2  
年)、浅野大輝(1年)  
個人戦 6位 野呂充志(2年)  
〔無線部〕  
全国高校ARDF競技大会  
優勝 田代瑞葉(2年)  
3位 藤田舞(2年)  
全日本アマチュア無線方向探索(A  
RDF)競技大会  
女子個人 2位 田代瑞葉(2年)  
4位 藤田舞(2年)  
女子年齢制限なしの部  
優勝 佐藤有早(3年)  
2位 佐々木詩穂(3年)

## 東北大会

〔陸上競技部〕  
女子走幅跳  
15位 船山美智子(3年)  
女子走幅跳  
出場 菅原真美(2年)  
〔体操部〕  
男子個人総合  
7位 山田貴大(3年)  
34位 平塚喜航(1年)  
男子つり輪 3位 山田貴大  
男子あん馬 4位 山田貴大  
男子鉄棒 5位 山田貴大  
〔柔道部〕  
男子73kg級  
2回戦 小川稜人(3年)  
男子90kg級  
1回戦 近藤優介(2年)  
女子63kg級  
1回戦 佐藤春佳(3年)  
〔空手道部〕  
男子個人形  
5位 福岡諒太(3年)  
〔水泳部〕  
男子二〇〇Mバタフライ

〔美術部〕  
全国高等学校総合文化祭三重大会参  
加 絵画 桐越智子(2年)  
〔陸上競技部〕  
女子走高跳  
3位 三浦野乃子(1年)  
女子一〇〇Mハードル  
5位 菊池夏帆(3年)  
〔体操部〕  
男子個人総合  
優勝 山田貴大(3年)  
2位 平塚喜航(1年)  
〔男子バスケットボール部〕  
ベスト8  
〔女子バスケットボール部〕  
2回戦  
〔男子バレーボール部〕  
2回戦  
〔女子バレーボール部〕  
1回戦  
〔男子ソフトテニス部〕  
2回戦  
〔女子ソフトテニス部〕  
個人ベスト32 大沢・工藤組  
団体 2回戦  
個人ベスト16 安藤・藤原組  
〔卓球部〕  
男子団体 3回戦  
女子団体 2回戦  
〔剣道部〕  
男子団体 ベスト8  
優秀選手賞 工藤拓也(3年)  
女子団体予選リーグ1勝1敗

## 全県大会

〔陸上競技部〕  
女子走高跳  
3位 三浦野乃子(1年)  
女子一〇〇Mハードル  
5位 菊池夏帆(3年)  
〔体操部〕  
男子個人総合  
優勝 山田貴大(3年)  
2位 平塚喜航(1年)  
〔男子バスケットボール部〕  
ベスト8  
〔女子バスケットボール部〕  
2回戦  
〔男子バレーボール部〕  
2回戦  
〔女子バレーボール部〕  
1回戦  
〔男子ソフトテニス部〕  
2回戦  
〔女子ソフトテニス部〕  
個人ベスト32 大沢・工藤組  
団体 2回戦  
個人ベスト16 安藤・藤原組  
〔卓球部〕  
男子団体 3回戦  
女子団体 2回戦  
〔剣道部〕  
男子団体 ベスト8  
優秀選手賞 工藤拓也(3年)  
女子団体予選リーグ1勝1敗

〔柔道部〕  
男子団体 予選リーグ  
男子個人73kg級  
3位 小川稜人(3年)  
男子個人90kg級  
2位 近藤優介(2年)  
女子個人63kg級  
2位 佐藤春佳(3年)  
〔サッカー部〕  
ベスト8  
〔山岳部〕  
男子 9位  
女子 出場  
〔空手道部〕  
男子個人形  
2位 福岡諒太(3年)  
女子団体組手 3位  
〔水泳部〕  
男子二〇〇M個人メドレー  
3位 渡部 愛(2年)  
女子一〇〇M背泳ぎ  
5位 渡部 愛(2年)  
〔放送部〕  
秋田県高校放送コンテスト  
アナウンス部門  
優秀賞 福司千晴(3年)  
優秀賞 平塚華奈子(3年)  
テレビドキュメント部門  
最優秀賞 伊藤ななせ・島山涼  
美・高橋香純・小林  
瑛美(3年)  
ラジオドラマ部門  
優秀賞 金平理恵子・笠原悠衣・  
小西愛・伊藤舞(3年)  
朗読部門  
入選 小林瑛美・小西 愛(3年)  
テレビドラマ部門 入選  
ラジオドキュメント部門 入選  
〔無線部〕  
秋田県高校ARDF春季大会  
女子団体 優勝(全国大会へ)  
女子個人  
優勝 佐々木詩穂(3年)  
2位 田代瑞葉(2年)  
3位 藤田舞(2年)  
第12回秋田県ARDF大会  
女子団体 優勝  
女子個人  
優勝 佐々木詩穂(3年)

## 野球東北・全県大会

〔硬式野球部〕  
春季全県大会  
二回戦 能代0-3秋田中央  
甲子園予選大会  
一回戦 能代5-0十和田  
二回戦 能代4-2男鹿工業  
三回戦 能代1-3明桜  
秋季全県大会  
二回戦 能代2-4明桜  
〔軟式野球部〕  
春季全県大会 準優勝  
一回戦 能代2-0秋田  
準決勝 能代4-1秋田商  
決勝 能代4-5秋田工  
春季東北大会  
一回戦 能代4-2羽黒  
準決勝 能代2-3専大北上  
全国大会県予選(東北大会出場)  
能代1-2秋田工業  
能代5-2秋田工業  
全国大会東北予選  
一回戦 能代2-0弘前工業  
準決勝 能代2-3秋田商業  
秋季全県大会(優勝 東北大会出場)  
一回戦 能代7-3本荘  
準決勝 能代6-1能代工業  
決勝 能代3-2秋田商業  
秋季東北大会(18年ぶり3度目の優勝)  
一回戦 能代8-1仙台一  
準決勝 能代5-0専大北上  
決勝 能代13-0石巻商  
(10月26日現在)

〔写真部〕  
高校写真連盟展  
入選 小林桃子(3年)  
〔囲碁・将棋部〕  
全県高校将棋大会  
団体戦 決勝トーナメント進出  
今井陽等(2年)・真川 諒(1  
年)・千羽克征(1年)  
個人戦 決勝トーナメント進出  
今井陽等(2年)・笠井湧太(1  
年)・高杉 峻(1年)・千羽克  
征(1年)

〔柔道部〕  
男子団体 予選リーグ  
男子個人73kg級  
3位 小川稜人(3年)  
男子個人90kg級  
2位 近藤優介(2年)  
女子個人63kg級  
2位 佐藤春佳(3年)  
〔サッカー部〕  
ベスト8  
〔山岳部〕  
男子 9位  
女子 出場  
〔空手道部〕  
男子個人形  
2位 福岡諒太(3年)  
女子団体組手 3位  
〔水泳部〕  
男子二〇〇M個人メドレー  
3位 渡部 愛(2年)  
女子一〇〇M背泳ぎ  
5位 渡部 愛(2年)  
〔放送部〕  
秋田県高校放送コンテスト  
アナウンス部門  
優秀賞 福司千晴(3年)  
優秀賞 平塚華奈子(3年)  
テレビドキュメント部門  
最優秀賞 伊藤ななせ・島山涼  
美・高橋香純・小林  
瑛美(3年)  
ラジオドラマ部門  
優秀賞 金平理恵子・笠原悠衣・  
小西愛・伊藤舞(3年)  
朗読部門  
入選 小林瑛美・小西 愛(3年)  
テレビドラマ部門 入選  
ラジオドキュメント部門 入選  
〔無線部〕  
秋田県高校ARDF春季大会  
女子団体 優勝(全国大会へ)  
女子個人  
優勝 佐々木詩穂(3年)  
2位 田代瑞葉(2年)  
3位 藤田舞(2年)  
第12回秋田県ARDF大会  
女子団体 優勝  
女子個人  
優勝 佐々木詩穂(3年)

# 支部だより

## 復活 県庁能高会

県庁能高会事務局  
佐藤 徹  
(五十一期)

県庁能高会も平成十九年三月六日の新年会開催以来、長い沈黙を続けて参りました。

小野公生会長の退職以降、会長不在が続き、県庁内で会う度に先輩方から、県庁能高会総会をそろそろやらないな、と言われ続けておりましたが、会長が不在のため、開催できない状況が続いておりました。

そんな折り、東京事務所長に異動が決まった福原秀就先輩(39期)より、会長不在ではまずい。俺が説得するとうことで、そこに高堂弘道先輩(41期)も入ってもらい、森田新一郎先輩(40期)に会長を引き受けてもらうことの内諾を得た次第です。

七月十三日には、「復活県庁能高会」というキャッチフレーズで、同窓会本部から田中会長、母校から山本校長先生が出席、会員三十名、来賓・

顧問七名の三十七名にて総会を開催することが出来ました。久しぶりの能高会で、校歌も久方ぶりに全員で歌いました。

継続は力なりと申しますが、今後は途絶えることなく会を続けていかなければという思いで、これからも努力して参りますので、よろしくご支援をお願いします。

## 東京同窓会

吉田 真由美  
(四十六期)

十月十八日(日)、東京同窓会の総会と懇親会がアルカディア市ヶ谷で開かれました。

母校から山本達行校長先生、同窓会から田中仁純会長と事務局の松谷健先生が遠路おいでくださり、来賓を含めて出席者は百五十名にのぼりました。初参加が新卒の79期生をはじめ三十六名もあつたのは、うれしいことでした。

今年の総会の目玉は、「樽子山校舎が生んだスーパー・ミュージシャン」と題する特別企画。音楽業界で活躍する43期の五代儀彦秀さん(アストロミュージック出版社長)と松尾一彦さん(元オフコース)、44期の宮城伸一郎さん(元チューリップ)と市川善光さん

(元とんぼちゃん)が樽子山での思い出がいっぱいの楽しいトークと、歌とギターによるライブ演奏を繰り広げ、参加者は大喜びでした。アンコール曲「心の旅」は会場の皆も声を合わせて歌いました。続く懇親会では旧交を温めあい、再会を期して和やかなうちにお開きとなりました。

首都圏在住でまだ参加したことがないという方、来年はぜひお出かけください。一同お待ちしております。



## 編集後記

今年は支部だよりの枠が狭くなり、4面に近畿支部と藤里町松陵会の様子を紹介しました。他支部でも総会等の集まりを開いています。直接各支部に連絡してみてください。

### 秋田県立能代高等学校同窓会本部・支部一覧 2009/10/15現在

名	前	郵便番号	所在地 (会長宅または事務局)	宛先 (代表者名)	電話・fax	会長名・支部長名	期
本部	能代高校同窓会	016-0184	秋田県能代市高橋2-1 秋田県立能代高等学校内 <a href="http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/">http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/</a>	能代高校同窓会事務局	0185-54-2230 fax0185-54-2231	田中 仁 純	25
	東京同窓会	143-0015	東京都大田区大森西2-15-21 大森太田印刷(有)内 <a href="http://shoryokenji.web.fc2.com">http://shoryokenji.web.fc2.com</a>	能高東京同窓会事務局	03-3765-1779 fax03-3766-1228	太田 勝 治	29
支	秋田支部	010-0976	秋田市八橋南2-10-16 農協ビル6階 柴田・加賀法律事務所内	同窓会秋田支部 加賀 勝己	018-864-2601 fax018-864-2602	加賀 勝 己	30
	県庁能高会	010-8570	秋田市山王4丁目1-1 秋田県庁 秋田県医師確保対策推進室 札幌市中央区南4条西6丁目11-2	県庁能高会事務局 佐藤 徹	018-860-1410 fax018-860-3883	森田 新一郎	40
	北海道支部	064-0804	全日ビル7F 榎雪研スノーイーターズ内	事務局長 大槻 政哉	011-272-3540 fax011-272-3550	菊地 晃 二	27
	近畿同窓会	655-0002	兵庫県神戸市垂水区小東山5丁目6-7	平川 長	078-794-0998 fax 電話と同じ	平川 長	29
	青森支部	030-0966	青森市花園1-27-18	原田 和夫	017-742-5061 fax017-744-6150	原田 和 夫	26
	大館支部	017-0844	秋田県大館市字新町10	西村 銀三	0186-42-0221 fax 電話と同じ	西村 銀 三	14
	八竜支部	018-2401	秋田県山本郡三種町鶴川字昼寝下67-1	岩谷 隆	0185-85-2335 fax0185-85-2104	岩谷 隆	31
	鷹巣阿仁支部	018-3322	秋田県北秋田市住吉町8-27	田中 三夫	0186-62-2731 fax0186-62-2757	まもなく決定	
	二ツ井支部	018-3119	能代市二ツ井町薄井58	事務局 秋林 俊明	0185-73-2644	豊澤 幸 夫	20
	藤里町松陵会	018-3203	秋田県山本郡藤里町大沢字館の下21-8	石田 洋三	0185-79-1801	石田 洋 三	27
松陵津軽会	038-2202	青森県西津軽郡深浦町岩崎字玉坂10-3	七戸 仁	0173-77-2012	七戸 仁	47	

(琴丘町支部と八森支部からは連絡がありませんでした)